

昭和五十六年度
帯広市
文化賞
文化奨励賞

帯広市教育委員会

帯 広 市 文 化 賞



つちや きよし
土 谷 清

(73才)

氏は昭和8年帯広市に移住以来、40有余年の永きにわたり、一貫して地域の基幹産業としての酪農の振興を図るため酪農機械器具の研究、開発改良になみなみならぬ情熱を注ぎ大きな業績をあげられました。また、次代を担う青少年の科学し、工夫する精神の重要性を説き、その啓発振興に尽力された功績も誠に大なるものがあり、帯広市文化賞を贈り顕彰するにふさわしいものと評価されます。

- 経 歴
- | | |
|----------|----------------------------|
| 昭和8年3月 | 帯広市において土谷製作所（後に土谷特殊農機具製作所） |
| 至 現 在 | を開業 |
| 昭和50年8月 | (株)土谷デムース合弁会社設立 |
| 至 現 在 | |
| 昭和32年4月 | 帯広発明協会理事長並びに会長を歴任 |
| 昭和56年3月 | |
| 昭和39年4月 | 帯広工業団地協同組合理事長 |
| 昭和54年5月 | |
| 昭和43年12月 | 帯広商工会議所副会頭 |
| 昭和45年11月 | |
| 昭和56年4月 | 帯広発明協会名誉会長 |
| 至 現 在 | |
- そ の 他
- | | |
|-----------|------------------|
| 昭和41年、43年 | 中小企業庁長官表彰（モデル工場） |
| 昭和48年4月 | 黄綬褒章（中小企業関係功労者） |
| 昭和52年5月 | 発明協会特別功労賞 |
| 昭和53年11月 | 勲五等瑞宝章（中小企業育成） |
| 昭和54年3月 | 通商産業大臣表彰 |

帯広市文化奨励賞



とき 田 則 雄

(35才)

氏は農業に専念するかたわら精力的に短歌の創作活動を行い、その作品は中央文壇においても高い評価を受けるまでに至り、昭和55年には斯界の最高峰のひとつと言われている角川短歌賞を受賞するなど将来を嘱望されています。また、本年秋には、処女歌集『北方論』を刊行するなど、その不断の努力と才能は将来に無限の可能性を秘めるものであり、帯広市文化奨励賞を贈るにふさわしいと評価されます。

経 歴

昭和44年	別府青年団長	昭和39年～辛夷社会員
昭和45年	帯広市農業青年団体連合 会編集局長	昭和47年～日本農民文学会員
	帯広市青年議会議員	昭和48年～北海道歌人会
昭和54年	別府保育所長	昭和55年～辛夷社編集同人 潭の会同人（札幌）

そ の 他

昭和53年	中城ふみ子賞	昭和55年	市民文芸佳作賞
昭和54年	第23回北海道歌人会佳作賞	昭和55年	第26回角川短歌賞 「一片の雲」